

単独アクティビティ集

プログラムの中のアクティビティと入れかえたり、さらに加えたりして、ねらいに合わせて組み込むこともできます。

アクティビティ1

「あなたが思い浮かべるイメージは？」（女性の人権）

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、社会教育施設職員等
- (2) 所要時間 40分

活動のねらい（ポイント）

- (1) 社会的・文化的につくられた性別による固定的な役割分担意識について、考えを深める。
- (2) 性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、自分らしい生き方について考える。

準備するもの

ワークシート

進め方（展開例）

学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
①グループで、歴史上の有名な人物を、思いつく限りワークシートに書く。 ②①であげた人物について「人権を考えたうえで、何か気づいたことはないか」グループで意見交換する。 ③ファシリテーターのコメントを聞き、意見交換する。 ④次に、職業の種類をたくさんあげ、ワークシートに書く。 ⑤④であげた職業をしている人の主なイメージが男性か女性かを話し合い、職業名の横に書く。 ※どちらとも言えない場合は、何も書かなくてよい。	・4人程度のグループで行う。 ・ワークシートを配付する。 ・あげた人物の性別に注意を促す。	・ワークシート →P.72
例 医者、大工、野球選手、保育士、サッカー選手、政治家、新聞記者、警察官、コック、看護師、パイロット、教師、生花店店員、銀行員、消防士、タレント、歌手、警備員、デパート店員		
⑥話し合いの柱にそって、グループで意見交換をする。 ⑦アクティビティをとおして考えたこと、気づいたことを中心にふりかえる。	<話し合いの柱（例）> ・なぜそのようにイメージしたか。	

学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
<p>⑧グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージと逆の性別の人がやっていたらどうか。 ・根拠のないイメージだけで性別による役割分担がされていることについても考えるよう促す。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的・文化的につくられた、性別による固定的な役割分担意識や思い込みがあることに気づく。 ・性別による固定的な役割分担意識にとらわれないことが、自分らしく生きるためには大切であることに気づく。 		

ワークシート

あなたが思い浮かべるイメージは？

次のことについて、グループで思いつく限りあげてみましょう。

ワーク1 歴史上の有名な人物

ワーク2 職業の種類

<参考資料など>

- 「人権教育事例集（社会教育編）」島根県教育庁人権同和教育課（平成15年3月）
- 「『一緒にいこうよ』人権教育指導事例集～ヒューマンライツインながの（学校教育編）」長野県教育委員会事務局教学指導課

アクティビティ2

「混雑した中で、車いすから見えるものは…」 (障害者の人権)

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、地域住民、社会教育施設職員等
- (2) 所要時間 40分

活動のねらい (ポイント)

- (1) 混雑した中での車いすの体験をとおして、今まで気がつかなかったことを感じ、障害について理解を深める。
- (2) 障害のある人もない人もお互いを尊重し、理解し、助け合うことのできる社会のあり方について考える。

準備するもの

ワークシート

進め方 (展開例)

学習の流れ (活動・内容)	留意事項	備考 (資料)
<ul style="list-style-type: none"> ①グループで輪になり、立って行う。 ②いすを車いすに見立てて、1人が座る。 ③いすのまわりを、残りのメンバーが楽しげに会話をしながら歩きまわる。 ④順番に全員がいすに座って体験する。 ⑤それぞれ「車いすに座っていて感じたこと」と「通行人として感じたこと」をワークシートにそれぞれ記入する。 ⑥グループを5人程度に分け、⑤について話し合いをする。 ⑦グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10人程度のグループで行う。 (グループの人数や1人の体験時間等は、研修の状況に合わせて調整する。) ・座っている人に、通行人に声をかけるように促してもよい。 ・ワークシートを配付する。 ・グループを話しやすい人数にする。 ・「混雑した状態だと、立って歩いている場合、自分の腰の高さより下を見ない」、「車いすに座っていると、見下ろされる位置にいたので、通行人の顔が見えず、行動も予測しにくいいため、恐怖を感じる」などを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート →P.74
<p>・今まで気がつかなかったことに気づき、様々な立場の人の気持ちや状況を知ることが、お互いを尊重し、理解し、助け合うことにつながるのだと感じる。</p>		

<参考資料など>

「PTA人権学習ガイドブック～ホップ ステップ ジャンプ～」
大分県教育庁 人権・同和教育課 (平成21年9月)

混雑した中で、車いすから見えるものは・・・

混雑した中での車いす体験はどうでしたか。それぞれの視点から、あなたが感じたことを書いてみましょう。

ワーク1 車いすに座っていて、どんなことを感じましたか。

ワーク2 通行人として、どんなことを感じましたか。

<参考資料など>

「PTA人権学習ガイドブック～ホップ ステップ ジャンプ～」
大分県教育庁 人権・同和教育課（平成21年9月）

アクティビティ3

「私が高齢者になったとき」(高齢者の人権)

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、地域住民、社会教育施設職員等
- (2) 所要時間 40分

活動のねらい(ポイント)

- (1) 高齢者の人権や生きがい、価値観等について考え、誰もが幸せになれる社会のあり方を考える。
- (2) 意見を交換し合う中で、様々な価値観や考え方に気づき、それらを認め尊重し合う気持ちを育てる。

準備するもの

- 〔個人に配付〕 ワークシート
- 〔グループに配付〕 拡大した「ダイヤモンドランキング」、「A~I」のカード 各1組

進め方(展開例)

学習の流れ(活動・内容)	留意事項	備考(資料)
①個人で「A~I」の項目を、「高齢者が生活していくうえで大切だ」と思う順番を決め、「ダイヤモンドランキング」に記入する。 ②個人で考えたランキングやその理由を、グループで発表した後、グループとしてのランキングを考える。 ③グループのランキングと話し合いの内容を、全体に発表する。 ④アクティビティをとおして考えたこと、気づいたことをグループで発表し合い、ふりかえりをする。 ⑤グループで出た意見を全体に発表し、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループで行う。 ・ワークシートを配付する。 ・自分が高齢者になったときのことを思いながら考えるよう促す。 ・ランキングを決めるときには、お互いの意見を尊重し合うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート →P.76
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとって住みやすい社会は、すべての人にとって住みやすい社会にもつながることに気づく。 ・お互いの意見を尊重し合うことが、人権が尊重されるよりよい社会づくりに大切であることに気づく。 		

<参考資料など>

「人権感覚育成プログラム(社会教育編)」埼玉県教育委員会
(平成21年3月)

私が高齢者になったとき

高齢者が生活をしていくうえで大切だと思う順番に選んでみましょう。

※ J の欄にあなたが考えるものを書いて追加してもよいです。
(その際は他のものを1つランキングから外してください。)

A 仕事がいつまでも続けられる

B 家族といっしょに暮らせる

C 病気になったら、最良の治療が受けられる

D 地域社会の役に立てる

E 学びたいものを学べる

F 自分の尊厳が守られ、周囲から大切にされる

G 必要な支援が受けられる

H 安全に住める場所がある

I 悩みなどを話し合える仲間がいる

J

ダイヤモンドランキング

1

2

2

3

3

3

4

4

5

<参考資料など>

「人権感覚育成プログラム（社会教育編）」埼玉県教育委員会
(平成21年3月)